

第35号

平成30年(2018年)
2月発行
白石区ふるさと会会報
(年2回発行)



第42回ふるさとまつり 川下公園で初開催

若者プロジェクト

札幌市ポプラ若者活動センターの協力の下、10~20代の若者71人が集まりました。

あいにくの雨により、2日目に予定していたステージイベントは中止となりましたが、恒例の白石大鍋やチュロス、揚げパンといったオリジナルメニューを販売したほか、「しろっぴー」と一緒に募金活動を行いました。



白石市、白石区の隊員からなる片倉鉄砲隊の出陣

平成29年7月15日と16日の2日間、「白石区ふるさとまつり」が、前回までの会場であった白石区役所の移転に伴い、初めて川下公園で開催されました。駐車場も備える広々とした会場にはステージや露店が立ち並び、カナルや芝生など、家族連れを中心に多くの来場者でにぎわいました。15日は最高気温が33度を超す暑さの中、ステージでは歌や楽器演奏、ダンスのほか、友好都市である登別市の皆さまに伝統の「熊舞」^{くまぶま}を披露していただきました。また、夕方からは開会式に引き続き、友好都市の宮城県白石市から、白石城主であった片倉家の砲術を伝承する「片倉鉄砲隊」が今年も登場。鉄砲隊は場内を闊歩し、大勢の観衆が見守る中、黒色火薬による発砲演武が行われました。態勢を変えながら次々に撃ち出される大きな発砲音と、銃口から噴き出る煙の迫力ある演武に、会場からは大きな拍手と歓声が上がりました。

白石区伝統のふるさとまつり



多くの来場者でにぎわう川下公園

今年の開催結果を踏まえつつ、来場者やスタッフの方々の声も反映し、次年はより魅力的なまつりとなるように進めてまいります。今後とも温かいご支援のほど、よろしくお願いたします。

「出張！なんでも鑑定団」開催
ふるさと会活動報告 2、3面

会長あいさつ
ご寄付へのお礼など 4面



登別市郷土芸能「熊舞」の豪快な演舞

16日はあいにくの雨の中スタートしましたが、雨脚が徐々に強まり、大雨警報も出たことから、12時30分に中止を決定しました。予定していたイベントの多くは残念ながら行われませんでした。スタッフや出店者のみなさまのご理解・ご協力のおかげで、大きな混乱や事故もなく終了することができました。この場を借りてお礼申し上げます。

「出張！なんでも鑑定団 in 札幌・白石」開催



収録会場内の様子

平成29年11月19日、「出張！なんでも鑑定団 in 札幌・白石」の収録が白石区複合庁舎5階区民ホールで行われました。

これは、全国放送番組を通して白石区を盛り上げるため、当会と白石区が共催で行ったものです。

白石区ふるさと会では、開催にあたり、ステージの拡張、照明機器の増設等テレビ収録用の舞台設備を整えるための費用として、寄付を募り、多くの方に賛同いただきました。

また、当日の受付、会場案内、場内整理については、ふるさと会会員企業からボランティアの協力をいただきました。

収録では、お宝124点の中から6点が選ばれ、観覧希望者は372人の応募の中から抽選で350人が当選。会場は関係者を含め約400人の観客が、鑑定額に一喜一憂いたしました。

収録の様子は今後テレビで放送されますのでどうぞご覧ください。

番組名：開運！なんでも鑑定団
 放送予定日：平成30年2月20日（火）
 午後8時54分から
 放送局：テレビ東京（北海道ではテレビ北海道（TVh））

ふるさと会活動報告

「表現豊かに熱弁」 白石区中学生の主張発表会

平成29年10月21日、白石区民センターで、「白石区中学生の主張発表会」を開催しました。この発表会は、自ら考え発表する力を養ってもらうと、昭和45年に始まった歴史のあるもので、今回で48回目を迎えました。

今回も宮城県白石市から、宮城県仙南地区弁論大会を通して市の代表として選出された中学生2名を招待し、発表していただきました。白石市の生徒からは、手術を受けたときに周囲の笑顔に支えられ、自分も笑顔で周りの人を支えていきたいという発表などがあり、来場者は真剣に聞き入っていました。

白石区の中学生達は、障がいを持つ子どもの施設を訪問して偏見を持たずに接することが大切だと感じたことや、学級代表になって支え合うことの必要性を改めて実感し成長できたことなど、今年も多彩なテーマで熱弁をふるいました。発表が終わるたび、会場は大きな拍手で包まれ、来場者からは「立派な発表に感動した」「それぞれに個性があり素晴らしかった」などの声が寄せられました。

また、3年生の部最優秀賞の種村涼花さん（白石中学校）と優秀賞の竹森蘭さん（白石中学校）は、11月に白石市へ派遣され、白石市立南中学校で交流したり、白石市長を表敬訪問したりするなど、白石区と白石市の友好を更に深めてきました。



3年生の部最優秀賞
種村 涼花さん



白石市で「ころ柿」体験

「白石でっち奉公」

「地域の小中学生が就労体験」

当会は、「次代の白石を担う子どもたちに働くことの楽しさ、ふるさと白石の良さを知ってほしい」という思いから、平成13年度に「白石でっち奉公」を始めました。



当初、2校70人でスタートしたこの事業は、会員の皆さまをはじめ、地域全体のご支援をいただき、今年度は区内中学校8校、小学校3校の計11校から約1500人の児童・生徒が参加し、区内外の162事業所の受入協力により実施される大きな事業となりました。

今後引き続き実施する予定ですので、皆さまもぜひご協力をお願いいたします。

～CSR活動の一環としての～

でっち奉公受入企業 募集中

～地域の子どもを地域で育てる～

子どもたちにとって、普段、学校や家庭ではできない貴重な体験となります。

白石区ふるさと会では、引き続き一日就労体験事業を行っていきます。会員企業様のCSR活動の一環として小中学生を受け入れてみませんか？

お問い合わせは事務局（白石区市民部地域振興課 電話 861-2422）まで。

「月寒川にぎわい川まつり」
〜川で遊ぶ機会を子どもたちに〜

平成29年7月22日、当会などで構成する実行委員会が「月寒川にぎわい川まつり」を開催しました。このイベントは、子どもたちに身近な自然に接する機会と親子のふれあいの場を提供し、自然環境について考えるきっかけをつくらうと開催しており、今回で22回目を迎えました。



当日は、前日からの悪天候も風傾には回復し、親子連れなど約900人が参加。子どもたちは「月寒川探検隊」として元気に川を探検したり、釣り堀やチューブ乗り、すいか割り、ビンゴ大会などで夏の一日を満喫しました。

また、今回も大学生がボランティアスタッフとして加わり、地域住民や若者の協力の下、円滑に実施することができました。

「白石区まち美化プログラム」
〜会員企業のCSR活動へ〜

平成29年11月2日、8日の2日間、「白石こころど（旧白石サイクリングロード）」約72kmの清掃活動を実施しました。会員企業・団体を含む50企業・団体の369人が参加し、収集した「ゴミや落葉は45ℓの袋に詰め、42袋となりました。



この「白石区まち美化プログラム」は、地域企業や団体と区役所が協働し、区内道路などの環境美化に取り組んでいるもので、当会では「白石こころど」における清掃活動を春と秋に実施しています。

清掃活動中は、歩行者の方からねぎらいの声を掛けていただくなど、地域住民の方々との交流の機会ともなっています。

なお、この活動に係る費用の一部には、自動販売機を通じた寄付金を活用しています。

自動販売機を通じたご寄付

白石区役所と北海道コカ・コーラボトリング㈱とが締結したまちづくりパートナー協定により、防災対応型自動販売機の設置者様から売上の一部を当会にご寄付いただいています。

対象となる自販機は「しろっぴー」のデザインが目印です。

【設置者：白石区母子寡婦福祉連合会様、北白石地区センター運営委員会様、㈱コンベンションリンクゲージ様、ムトウ建設工業㈱様、㈱白石ゴム製作所様】
心からお礼申し上げます。



白石区マスコミキャラクター「しろっぴー」

「白石区子どもワンダーランド」
〜仲良く楽しく国際交流〜

事業委員会では、「第13回白石区子どもワンダーランド」を平成29年11月11日に開催しました。

当日は、60人の小学生が、留学生やJICA北海道の研修員など、札幌市に滞在する外国の方々、ゲーム・ダンス・サイン会・おやつタイムなど盛りだくさんの内容で、楽しく交流しました。



いろいろな国の言葉が飛び交い、外国の方と小学生の温かな触れ合いの輪が広がりました。

雪まつり大雪像制作団体への
激励を実施

総務委員会では、平成30年1月22日、雪まつり大通4、5丁目会場で大雪像を制作中の「陸上自衛隊」「さつぽろ雪まつり大雪像制作委員会」の皆さんを激励訪問しました。

訪問先では、みかんとお茶を差し入れ、委員長から激励と感謝の言葉を伝えました。

同制作委員会の森岡隊長からは「皆さんの心遣いに感謝いたします。安全に配慮して作業し、皆さんに感動していただける雪像を完成させます」とお礼の言葉をいただきました。



会長あいさつ、ご寄付へのお礼

会長あいさつ

白石区ふるさと会会長の武藤です。日頃から、当会の活動にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

昨年を思い起こすとき、3つのことが頭に浮かびました。まずは7月のふるさとまつり2日目のゲリラ豪雨です。白石音頭踊り手の女性部の皆さまをずぶ濡れにいたしました。大変、申し訳ありません。

次に、念願の交流都市協定を締結した登別市に訪問した折に、当会の「中学生の主張発表会」をご案内いたしました。登別市より平成30年から参加の返答をいただき、大変に喜んでおります。

最後は当会が関わりました、11月の「出張！なんでも鑑定団 in 札幌・白石」の区民ホールでのテレビ収録ですが、皆さまの大きな協力と応援をいただきました。これらのほかにも当会として多くの事業を行いました。皆さまには特段のご理解、ご支援をいただき、心からお礼申し上げます。

今後も、会の活動に全力で取り組んでまいりますので、引き続き皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



平成29年度寄付者のご紹介

札幌白石ライオンズクラブ様 80,000円

当会にご寄付いただいた皆さま（一部）をご紹介します。いただいた寄付金は、中学生の主張発表会で、最優秀賞、優秀賞受賞者を宮城県白石市に派遣する事業などに活用させていただいたほか、今後実施する事業で活用させていただきます。このほかの皆さまからもご寄付をいただきました。

この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

～白石区ふるさと会にぜひご入会ください～

白石区のまちづくりに貢献する団体です！！

白石区ふるさと会は、白石区を人情味と風格あふれる素晴らしいまちに育てていくことを目的として、昭和51年3月に設立されました。区内の8連合町内会をはじめ、多くの住民組織、企業、官公庁などさまざまな団体や個人で構成されており、平成25年度には白石区と「まちづくりパートナー協定」を締結するなど、白石区のまちづくりに貢献している、他の区では例を見ない団体です。

「白石区ふるさとまつり」をはじめ、「月寒川にぎわい川まつり」「白石でっちな奉公」「中学生の主張発表会」「白石区子どもワンダーランド」など、子どもたちが健やかに伸び伸びと育てていくためのイベントを数多く実施しているほか、「社会を明るくする運動白石区民大会」「白石区民スポレク大会」「白石区成人式」など、区内各種7団体が実施している事業に対する助成を行っています。

当会へは、白石区に関わりのある個人の方、白石区内でまちづくり活動・企業活動を行う団体であれば、どなたでもご入会いただけます。会員は、会の事業報告や事業計画の議事を行う「白石区ふるさと会総会」への出席、各種事業への関わりを通して、会の活動にご参加いただけます。

白石区ふるさと会への入会方法

会費を銀行振込または事務局へ持参していただくことにより入会することができます。詳しくは、事務局までお気軽にお問い合わせください。

なお、ご入会いただいた際は、白石区ふるさと会会員証（兼年会費領収書）を発行いたします。

〔団体会員：年会費5,000円から、個人会員：年会費1,000円から〕

区分	納入先	備考
銀行振込	北洋銀行 白石中央支店 普通口座 0381179 白石区ふるさと会 会長 武藤征一（ムトウサカキ）	大変恐縮ですが、振込手数料は別途ご負担願います。
事務局への持参	白石区複合庁舎4階 総務企画課までお願いいたします。	

（問い合わせ先）白石区ふるさと会事務局（白石区市民部総務企画課）

所在地 札幌市白石区南郷通1丁目南8-1 白石区複合庁舎4階 電話 861-2405